

第5学年 道徳科学習指導案

令和4年2月1日（火）第5校時

- 1 主題名 より高い目標に向かって 内容項目 [A 希望と勇気、努力と強い意志]
- 2 ねらい 主人公のひたむきに努力し続ける姿勢の素晴らしさについて話し合う活動を通して、困難や失敗があってもくじけず強い意志をもって努力し続けようとする態度を養う。

教材名 「世界に羽ばたく『航平ノート』」（出典：「新・みんなの道徳 5年」）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題は、小学校第5学年及び第6学年内容項目 [希望と勇気、努力と強い意志] 「より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやりぬくこと。」を深めることを意図したものである。これは、低学年の内容項目 [希望と勇気、努力と強い意志] 「自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。」、中学年の内容項目 [希望と勇気、努力と強い意志] 「自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。」を受けている。また、中学校の [希望と勇気、克己と強い意志] の内容項目「より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を越えて着実にやり遂げること。」につながっていく。

本主題では、苦しくても諦めずに努力して物事をやり抜き、失敗を重ねながら夢を実現した人に触れ、希望をもつことの大切さや、希望をもつが故に直面する困難を乗り越える人間の強さについて考えることを通して、児童の中により積極的で前向きな自己実現を形成することを大切にする。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

(略)

授業を行うにあたって、児童に内容項目及び学習形態に関する意識調査を行った。

「努力と強い意志」についての意識調査 実施日 令和3年11月1日(月) 調査人数 人)

質問内容	回答
1 努力は大切だと思いますか。	
2 なぜ大切だと思いますか。 (記述)	
3 頑張ろうと決めたことを諦めてしまったことはありますか。	
4 努力したが、思うような結果にならなかったことはありますか。	
5 質問3で「ある」と答えた人に聞きます。その時どう思いましたか。(記述)	
6 道徳の授業で自分の考えが深まる場所は次のうちどれですか。	

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、ロンドンオリンピック金メダリストである内村航平選手が、いくつもの困難を乗り越え、理想とする演技獲得のために、根気よく努力を続ける姿が中心に描かれている。小学校高学年の時に自らイメージした技を「じゅうちょう」にかき溜め、困難な状況下でも不屈の精神をもち、現状で満足せず、より高い技に向けて、ひたむきに練習をする内村選手の小学校時代の話であるが、現実はなかなか内村選手のようにはなれない。そこで、努力の成果が実らなくても、くじけず努力し続けることの美しさや素晴らしさに気付かせる。そして、努力する過程や努力し続けることの大切さを理解することで、人間性が高まることを本教材にて学習していく。本学級の児童の実態に即して、次の点について話し合うことにする。

① 「じゅうちょう」をどのような思いで描いていたかの場面

ここでは、ノートに描いた技を成功させたいという高い目標に向かって、懸命に努力し続ける姿勢について考えさせる。「好きこそものの上手なれ」という気持ちが内村航平のパワーの源であることに気付かせる。

②努力が実らなかったA君について

ここでは、努力が大成した内村航平とは対照的な内容について話し合う。努力の大切さとは、結果ではなく、目標を達成するまでひたむきに頑張ろうとする過程に価値があるということに気付かせ、考えを深める。

以上の理由から、本主題を設定した。

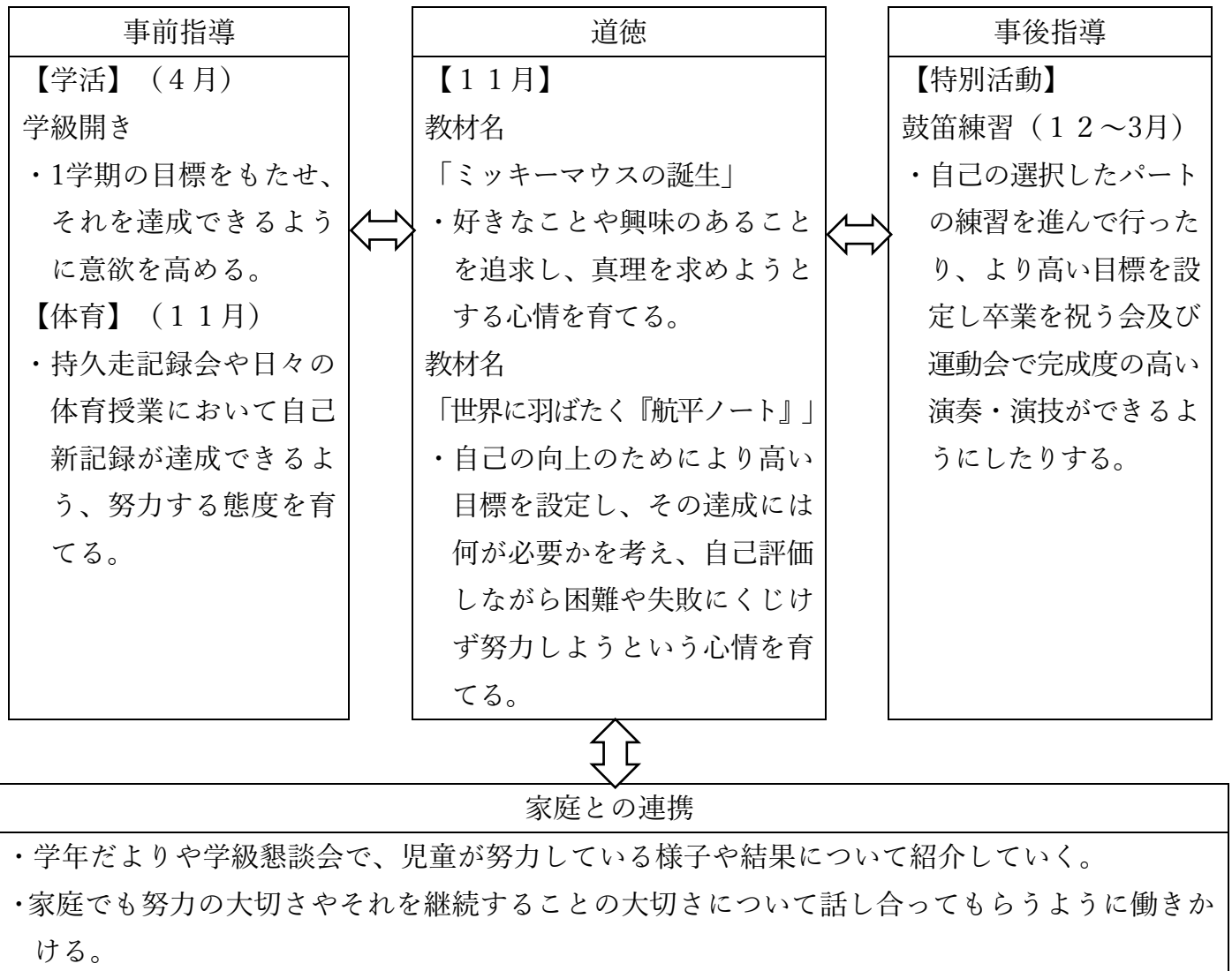
4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 オリンピックの映像を見せ、内村航平という人物について知る。 (1)なぜ、内村選手はこのような技ができるようになったのでしょうか	<ul style="list-style-type: none"> ・努力したから。 ・できるようになりたいと思ったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロンドンオリンピックの映像を見せることで、内村選手への関心を高める。(ICTの活用)
	学習課題 なぜ努力は大切なのでしょうか。		
展開	2 「世界に羽ばたく『航平ノート』の条件・状況を知る。	【登場人物】 内村航平 お母さん 【条件・状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・幼いころから体操を学んだ。 ・小学校1年生の時に初めて大会に出場したが、最下位だった。 ・小学校高学年で自分の考えた技を練習するが、なかなかできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物、条件・状況をおさえる。
	3 技ができるようになるまでの道のりを中心に話し合う。 (2)航平は「じゅうちょう」にどんな思いで描いていたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対成功させたい。 ・いつか技を成功させたい。 ・諦めずに練習し続けよう。 ・できるまでやろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諦めなくなる弱さは誰にでもあることに気付かせる。 ・思い描いた技を成功させたいという航平の気持ちに共感させる。 ・技を成功させるために強い意志をもって目標に向かう航平

	<p>4 努力しても報われなかったA君について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今はできなくても、練習を続けよう。 	<p>の気持ちを自分事として捉えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諦めてしまいそうになるが、目標のためにひたむきになることの大切さを共有する。
		<p>【登場人物】 A君 【条件・状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・夢は甲子園に出場。・毎日6時間以上練習をし続けた。 ・甲子園出場もできずに、スタンドで応援という結果で終わってしまった。 </p>	
	<p>(3) 一生懸命練習しても、良い結果が出なかったA君の努力についてどう思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結果にこだわらず、努力することが大切。 ・努力は、コツコツし続けることが大切である。 ・思うような結果にならなくとも、そこで頑張り続けたことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・努力には様々な形があることに気付かせる。 ・努力してもよい結果になるとは限らないことが、目標を達成させるために過程にこそ真の価値があることに気付かせるようにする。 <p>☆話合いを通して、努力し続けることは、常に困難や失敗と対になっていることを理解し、その過程においてあきらめない強い意志が必要であることに気付いている。</p>
	<p>5 本時の学習を振り返り、自己を見つめ、自己の生き方について考える。</p> <p>(4) 今日の学習を通して、これからどのように生かしていきたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あきらめかけたら今日の学習を思い出して頑張りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいとする価値に迫る児童を机間指導して見つけ、全体に共有する。 <p>☆本時の学習を振り返り、夢や目標をかなえるために大切なことは何かを自分との関わりで考えている。</p>

終末	6 教師の説話を聞く。	・価値に関する印象を深め、道徳的実践力への意識付けを図る。
----	-------------	-------------------------------

5 他の教育活動との関連



6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・努力し続けることは、常に困難や失敗と対になっていることを理解し、その過程においてあきらめない強い意志が必要であることを話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・本時の学習を振り返り、結果にとらわれず、懸命に努力し続ける意義について自分との関わりで考えている。

7 板書計画

